

< 事業所自己評価の結果 >

実施日 西暦 2025 年 3 月 21 日

事業所名 優っくり小規模多機能介護町田森野

役職/氏名 管理者 / 神吉美弥子

■評価の結果「できている」と感じた点や、日頃から特に力を入れている点

在宅での生活が継続できるよう、工夫を重ねてサービス提供を行っている。

地域の認知症啓発の活動の一環として、ラン伴、町田Dサミット、地域ネットワークサポート活動などに積極的に参加し、地域との関係性の構築に努めている。

職員間の連携がスムーズで、細かな内容まで共有できている。

■評価の結果、「できていない」と感じた点と、改善に向けた取組案

柔軟な対応が行えている反面、ケアプランに反映できていない側面がある。家族、職員にも十分伝わりにくいため、ケアプランを基にしたサービスの提供、という意識を高めていく必要があると感じた。

職員の育成計画については十分共有、実施できていないと感じる為、個人の希望を取り入れ、年間の計画を策定していきたいと考える。

情報開示についても、タイムリーな実施が行えていないため、ホームページ等を活用して行えるようにしていく。

※上記は、従業者等自己評価の後に記入してください

■評価表[従業者等自己評価]

番号	評価項目	従業者等自己評価				評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>						
<b>(1) 理念等の明確化</b>						
① 小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践						・「計画目標の達成」について、評価します
1	<p>・サービスに求められる「①利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での訪問支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている</p>	○	●	○	○	<p>・①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>・①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>・独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>法人ビジョンとして</p> <p>【地球規模で考え、足元から行動する社会福祉法人となるため、やりたいことで圧倒的な価値を生み出し、「地域の人々が育つことで、生活が革新する」という仕組みを世界で発信していきます。】</p> <p>を掲げており、個々の問題解決の為サービスを提供し、地域づくりにも積極的に参加している。</p>				

2	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
「ゆっくり、いっしょに、たのしく」という事業部の理念を職員の目につくところに掲示し、年間の事業計画にも位置づけ共有している。個々のペースに合わせた支援と、「なんだか楽しい」と感じられる場作りを意識して行っている。						

## (2) 人材の育成

### ① 専門技術の向上のための取り組み

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している</li> </ul>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
年間計画などで研修が計画されているが、各職員の意見をなかなか組み込めていない。						

4	・法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保						
5	・介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>・例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				

(3) 組織体制の構築

① 運営推進会議で得られた意見等の反映

6	・運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容]				
		地域の情報を得て、利用者へも伝えることができている。オレンジカフェ、まちとれ、出張販売、特殊詐欺最新情報等。				

② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備

7	・職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ・例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		[具体的な状況・取組内容]				
		キャリアアップシートの作成を毎年行い、今後のキャリアアップの以降の確認を行っている。継続した就労を行えるように、個別に支援している。				

(4) 情報提供・共有のための基盤整備						
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備						
8	・利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	●	○	○	○	<p>・「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		[具体的な状況・取組内容]				
		変更点については電子記録媒体への記録と、コミュニケーションアプリ（スラック）や業務日誌などを活用し、共有できるように努めている。				
(5) 安全管理の徹底						
① 各種の事故に対する安全管理						
9	・サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○	●	○	○	<p>・「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します</p> <p>対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
		[具体的な状況・取組内容]				
		サービス提供マニュアルを配布し、誤薬防止の対策や車両事故発生時の対策など行っている。				

② 災害等の緊急時の体制の構築

10	<p>・災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている</p>	○	●	○	○	<p>・「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>・例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>
		[具体的な状況・取組内容]				
		<p>BCPの策定を行い、発動訓練等を行っている。安否確認方法については、電話等の回線が使用できなくなった場合におけるの代替手段をまだ確立できていない。</p>				

番号	評価項目	従業者等自己評価				評価の視点・評価にあたっての補足
		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	
<b>II サービス提供等の評価</b>						
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>						
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>						
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施						
11	・在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1	5	1	1	・「計画目標の達成」について、評価します
		[具体的な状況・取組内容]				
		利用者様やそのご家族の日常生活の手助けができるように心がけている。 通い・泊りの調整等を利用者の状況をよく見て行えている。 独居や家族の状況。自宅の様子など、生活を考えていると思う。 訪問や送迎に出ている職員とそうでない職員の違いがある。				
12	・介護職と介護支援専門員・看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、各職種の間で共有されている	1	6	1	0	・「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ・介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
		[具体的な状況・取組内容]				
		わからないことはその都度聞くようにしているが結果の共有はできていないことがある。 スラック、申し送りの実施、業務日誌、電子媒体記録などを通して共有している。				



② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成						
13	<p>・家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている</p>	0	6	1	1	<p>・「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>利用者様とご家族様にこれからどうしていきたいのかをなるべく聞くようにしている。</p> <p>それぞれの家族の意見は反映できていると思うが話ができている家族と十分ではない家族との差がある。</p>				
14	<p>・利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている</p>	0	6	1	1	<p>・「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>・「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>「回復」「向上」というよりは「維持」という事を考えた計画になっていると思う。利用者の自立や気持ちの満足という事が提供できていない。</p> <p>機能の維持について、過剰介護をしてしまっている部分があると感じる。</p> <p>自分でできることはできる限り行ってもらうようにし、必要な時は解除し関わっている。</p> <p>一人一人会話をするようにし、利用者のことをもっと理解できるように心掛けている。</p>				

③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成						
15	・利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	1	5	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>・介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 従業員、看護師共に情報を共有しておくようにする。一つ一つの動作に対して、利用者様に生じるリスクを考えながら行動できるように心掛けている。				
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>						
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映						
16	・サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている。	1	4	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>・「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 早期の把握、対応はできていると思うが計画への反映ができていない。現状の利用者に対するお手伝いはできていると思うが目標に関してはあまりよくわからない。 利用者の状況変化はとても大事なことだと思うので状況の共有も怠らないようにする。				

② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映						
17	・通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</li> <li>訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
		<p>訪問内容は細かい事でも必ず共有している。少しでも変化があれば看護師に相談する。ご家族がいらっしゃる場合はご家族からも話を聞くようにする。</p> <p>長い訪問時間ではないが適切に行っていると思う。</p>				
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有						
18	・利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1	3	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
		<p>出来ている利用者と、そうでない利用者の差がある。往診がある利用者にはできていると思う。</p> <p>現状の利用者に対するお手伝いはできていると思うが目標に関してはよくわからない。</p> <p>主治医と話ができる人や看護師と共有して話を聞く。</p>				

**(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供**

① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供

19	介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	2	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>・介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
20	・利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	2	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				

② 介護職から看護職への情報提供および提案						
21	・介護職から看護職に対して、収集したバイタル情報・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
		体調や自宅での様子、家族の対応など情報を伝えることはできていると思う。 相談や提案など常に看護師に行えるように心がけている。				
(4) 利用者等との情報及び意識の共有						
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供						
22	・サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利用者等の理解」について、充足度を評価します</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容]				
		事業所での様子を伝えるように心がけている。				

② 利用者等への「在宅生活」に係る介護方法等の指導・説明						
23	・作成した計画の内容や在宅生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1	4	1	1	・「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 在宅での日常生活に関して留意すべき内容について考えるようにしている。				
24	・利用者等が行う服薬管理や福祉用具の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法、家族等が行うケアの提供方法について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	2	4	3	0	・「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 家族の行うケアについて、抜けている部分がある。 福祉用具などを見かけた際、どういうものなのか考えるようにしている。				

③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有						
25	・利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	1	6	1	0	・「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 利用者に関わって気持ちを聞き、情報共有するように心がけている。				
26	・在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる	0	5	2	1	・「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 本人、家族、主治医と相談、意向の確認をしている。				

27	・終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	0	4	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>・「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 主治医と連携を図り、医師から十分な説明が受けられるように支援している。				

## 2. 多機関・多職種との連携

### (1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供

#### ① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行

28	・病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	1	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>・例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 退院前カンファレンスなどに参加している。 周囲からの情報は記録しているが、利用者への説明という部分は十分にできていない。				



② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有						
29	<p>・すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、家族等と相談・共有することができる</p>	1	5	0	2	<p>・「緊急時の対応方針等の家族等との相談・共有」を評価します</p> <p>・利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を家族等と相談・共有しておくことが重要です</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>全利用者様に、急変時の意向確認シートを作成している。</p>				
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築						
30	<p>・地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている</p>	○	●	○	○	<p>・「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>体調変化時には主治医、家族と相談し、対応を行う。</p>				

<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>						
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討						
31	・運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	○	○	●	○	<p>・「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>・そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>・民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
		[具体的な状況・取組内容]				
地域の方へ向けた情報発信のための活動を、今年度は十分に行えなかった。地域サポートネットワーク活動は行うことができた。						
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>						
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>						
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信						
32	・運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○	○	○	●	<p>・「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		[具体的な状況・取組内容]				
参加できなかったご家族様へ向けて、十分に発信することができなかった。						

33	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている</li> </ul>	○	●	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 民生委員の方々に事業所の見学、サービスの説明などを行わせていただいた。				

**(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画**

① 行政の地域包括ケアシステム構築に						
34	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している</li> </ul>	○	●	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
		[具体的な状況・取組内容] 事業計画の中で地域包括ケアシステムの構築について参画することを計画している。				

② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開					
35	<p>・サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している</p>	●	○	○	<p>・「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</p> <p>・特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>特定の建物へのサービス提供はなく、送迎可能範囲内のあらゆる地域へサービス提供を行っている。</p>			
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等					
36	<p>・介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている</p>	○	●	○	<p>・「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>・今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>・そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>小規模連絡会において得られた情報などを基に、地域の関係者とのネットワークを広げることができた。</p>			

37	<p>・家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている</p>	○	○	○	●	<p>・「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>・今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>・そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>十分できていない。</p>				

■評価表[従業者等自己評価結果]

番号	評価項目	従業者等自己評価				評価の視点・評価にあたっての補足
		ほぼ全ての利用者について達成されている	利用者の2/3くらいについて、達成されている	利用者の1/3くらいについて、達成されている	利用者の1/3には満たない	
<b>III 評価結果</b>						
① 計画目標の達成						
38	・サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	○	●	○	○	・「計画目標の達成」について、評価します
		[具体的な状況・取組内容]				
		在宅での生活が継続できるように、概ね達成されている。				
② 在宅での介護生活の継続に対する安心感						
39	・サービスの導入により、利用者およびその家族等において、介護が必要な状況下においての在宅での生活の継続に対し、安心感が得られている	○	●	○	○	・全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「介護が必要な状況下においての、在宅での生活の継続に対する安心感」について、評価します
		[具体的な状況・取組内容]				
		生活全般のことを相談できる場として、安心感を提供できている。				